

「大好き！ 私たちの町 かみかわ」

令和3年度 行政ブロック別懇談会

問 総務課 ☎34-0001

第12回目となる令和3年度の町長懇談会については、区長会での確認のとおり、地域と行政が一体に取り組むべき課題への対応としての、①『地域自治協議会』の設立に関する内容を中心に、②各区からの事前提出課題に対する回答と意見交換を行いました。

地域自治協議会 編

① 地域自治協議会とは？

- 『町民が主役』の町づくりのプラットフォーム（土台・基盤）です。
- 地域課題を地域で検討・解決し、持続可能な地域をめざします。
- 地域のさまざまな団体や事業者が参加して連携・協働するシステムです。

② なぜ、今必要なのか？ 「提案の背景」

- 平成22年度から10年間全40区で開催してきました町長懇談会は、裏山防災・危険木対策、環境維持対策、区要望事業の推進等、住民の声をもとに事業推進・補助事業化を進めてきました。一方で、未解決課題の多くは、担い手不足等による区運営、いわゆる少子・高齢化、地域振興の課題として浮き彫りになりました。
- 加えて、近年では区ではどうすることもできないので、行政の支援が必要とのご意見、具体的には道路、河川、裏山等防災、鳥獣害・環境対策の課題が多く、ハザードマップを活用した避難のあり方についての意見も多くなっています。
- ハード事業は、多くが国・県の支援を受けながらの取組でしかなく、優先箇所からの順番待ちというのが実態です。
- このような現状・地域としての困りごとを何とか解決できないかというところで、このたびの懇談会で、『地域自治協議会』の仕組みについて説明・提案しました。
- 具体的には、6年前から長谷地区で成功事例を作るために集落支援員を配置して取り組んでいる成果と課題や、朝来市での取組事例を紹介しながら、人（集落支援員・地域おこし協力隊等）と財源を一定予算化できる仕組みとして提案しました。

③ ブロックごとの主な意見

番号	地域自治協議会／越知谷ブロック 5月21日（金）	
①	<ul style="list-style-type: none"> ①自治活動の問題なのか。 ②人口減少からの活性化の問題なのか。 	 <p>▲越知谷ブロック</p>
②	お金の使い方、考え方のポイントは？	
③	活性化を主眼に置くと考えればやれそう。	
④	どうしてもできないことは役場をお願い。最初のとっかかりが必要でノウハウを。	
⑤	集落支援員を誰に。地域と連携して計画づくり、この地域での共通課題は福祉か。区役員の仕事が増えなければ。	
⑥	集落支援員は地域のことをよくご存じの方で、ある程度スキルが必要。	



番号	地域自治協議会／粟賀北ブロック 5月28日（金）
①	近隣区の協力が、ブロックか。
②	理想としてはこのブロックか。
③	区の役員のなり手がなくなっていくという懸念。
④	獅子舞、屋台とかを体育館、旧粟賀小跡地でイベントも可能か。
⑤	営農のイベントなどはそれぞれの団体で行っている。
⑥	区の合体（統合）を想定しているのか。
⑦	区が合体しようとするとなかなか難しい。
⑧	こんなことをすればという考えは？
⑨	粟賀北では3人ぐらい集落支援員が必要。予算措置は？
⑩	災害時の避難でも支援できる。
⑪	銀の馬車道協議会設置では非常に苦労した。
⑫	地域自治協議会と集落支援員の関係が理解できていない。
⑬	単独要求で行けるのか？
⑭	生活支援協議体アンケートでは、買い物等移動手段の問題。準備段階で丁寧に。ここなら一緒にできるかなといったような進め方が必要。
⑮	8月区長会で各区・ブロックの反応について報告を。【報告済】



▲ 粟賀北ブロック

番号	地域自治協議会／粟賀南ブロック 6月4日（金）
①	粟賀南ブロックでは人口が減っていないが、町内移動か町外移動か。将来課題は？
②	自治協は大切。延命措置。大切なことはビジョン、方策があってセットで行動。より具体的に示して。
③	ここに住もうとか発展するのは、第一印象が大事。
④	若者と考える土俵はあっても、やっぱり奥はアカンと思われてしまうことが問題。
⑤	この南部の協議会は水系が同じであって有効。一方、横だけのつながりはダメ。自ら運営できる仕組みが必要。
⑥	地域の課題を認識することが必要。違う課題を共有することによってお互いが何ができるのか。もう一步踏み込んだ具体的な何かを。



▲ 粟賀南ブロック

番号	地域自治協議会／大山ブロック 6月11日（金）
①	農道草刈りを自分たちでやろうという形をつくっている。道から田へ広げる。多面的交付金や別の補助金があれば取り組みやすくなる。
②	大山は広い。それぞれ区でやられていることを優先。小学校跡地とか道の駅で何かできればとの思いはあるが。
③	どこを拠点にするのか？
④	全住民に対しての説明が必要。
⑤	最大公約数的な内容で実施しないと補助金が出ないのか。草刈り、イベントこの2つだけでも協議会は成り立つの。
⑥	どう仕掛けるか共通項でいえばクリーン作戦の草刈り。財産区との関わりは公的な立場、各区長集まってもこの話の延長になるのでは。



▲ 大山ブロック



⑦	誰がまとめるのか？
⑧	つくる前提で人を配置するのか？
⑨	区同士の話はどうなるかわからない。

番号	地域自治協議会／寺前ブロック 6月18日（金）
①	テーマを絞ってやるなら説明が長すぎる。
②	朝来市の例を見ると、リサイクル品・廃品回収や手作りペットボトル、ふれあい喫茶等。体操教室も。すでに取り組んでおり、積極的になれない気がしている。
③	区でもいろいろと取り組んでいる。集めて取組を進めると独自のものが消えてしまう。
④	集落支援員は、長谷地区の振興を考える会でやっているのと別の事業なのか？



▲寺前ブロック

番号	地域自治協議会／小田原ブロック 6月25日（金）
①	63、64歳以上の方が区を盛り上げようと頑張っている。地域の活性化につながれば。
②	1区の活動では補助金は下りないのか。頑張っているところに補助金を出すことはできないのか。
③	生活支援協議体、できていないとすればどこに原因？自分が住んでいる区内の課題すらわからないなかで、ほかの集落と合同で設立という流れには、なかなかならない。また、別に課題があっても何となくやっていけている。昔の組織やコミュニティが薄くなってきているなかで、地域自治協議会も生活支援協議体も考えていく必要があるが、町・行政がリーダーシップをとってくれないと、地域だけの力ではどうにもならない。
④	少子化、高齢化で若い人が少ない。自宅から勤められる環境づくりに。人・農地プランの作成もしたが、立地条件からなかなか実現するのが難しい。10年後どうなるか。村の機能、隣保の機能低下が起きていて、隣保の統合を計画している。



▲小田原ブロック

番号	地域自治協議会／長谷ブロック 7月2日（金）
①	今、長谷地区の振興を考える会を中心に取り組んでいる。それらの役をすべてやれということになると、家のことなどできなくなる。例えば、長谷地区の振興を考える会を地域自治協議会に含めて一本化するなどを、行政として指導されるとか考えてもらいたい。
②	地域包括生活支援協議体は大変ありがたい事業だが、運営経費が維持できない。地域自治の精神にのっとって進めるなら、町として支援が必要。



▲長谷ブロック

④ どんな仕組み（制度設計）が求められているか。

◎ポイント

- 地域自治協議会は複数区で設立が可能だが、旧小学校区や旧村等一定規模で効果があるとされている。
- 行政としての提案のポイントはまさしく、①自治活動への支援と、②人口減少からの活性化の両視点である。
- 行政として、各区課題として、見過ごすことができない状況と判断し、行政ブロック単位・各区3役対象の説明・提案に至っている。



- 地域課題の掘り起こし・まちづくり計画は、集落支援員等が事務局を担い作成、その費用は特別交付税により措置できる。
- 今回の提案では、350万円／1ブロック・1年当たりの予算で提案している。

◎各区の課題（不安要素）

- 一定規模の集落では、1区で自治機能が発揮されており、必要性が感じられない。
- 各区により抱える課題が異なる場合の対応はどうか？
- 区の役員のなり手がなくなっていくという懸念。
- 区役員の仕事が増えるのではないかと？
- 区の合体（統合）を想定しているのか？
- 区を集めると独自のものが消えてしまう。それぞれの区事業を優先。
- 最初のとっかかり、ノウハウを。町・行政のリーダーシップが必要。
- 誰を集落支援員に選任するか。地域のことをよくご存じでスキルも必要。
- どこを拠点にして誰がまとめるのか。つくる前提で人を配置するのか？

◎各区の展望（具体的な提案）

- お金の使い方、考え方のポイントを。
- 活性化を主眼に置けばやれそう。
- 大事なことはビジョン。方策があってセットで行動。
- 農道草刈りを自分たちでやろうという形をつくり、道から田へ広げる取組を進めている。
- 草刈り・イベントの2つだけでも協議会は成り立つのか？
- 人・農地プランも作成したが、立地条件から実現が難しい。10年後どうなるか。
- 村・隣保の機能低下が起こり、隣保の統合を計画している。
- 例えば、長谷地区の振興を考える会を地域自治協議会に含めて一本化するとかの行政指導を。
- 生活支援協議体含めて地域自治の精神にのっとなって進めるなら、町としての支援が必要。

★今後、区長の皆さまとの各行政ブロック別説明会&懇談会を開催しながら、さらに具体化した仕組み・モデル事例として紹介・提案し、取組を進めていく予定です。

各区課題 編

番号	各区課題／越知谷ブロック 5月21日（金）
①	県道岩屋生野線の拡幅について。
②	県道沿いの木の撤去・伐採について。
③	矢床の河川洗掘対策。
④	ゲートウエイアジア合同会社について。
⑤	アグリイノベーション神河について。
⑥	避難場所の安全対策について。
⑦	町の除雪作業について。
⑧	公立神崎総合病院付近の道路事情について。
⑨	旧越知谷小学校の使用について。
⑩	県道岩屋生野線沿線の落石防止対策。
⑪	越知川左岸側の町道の等級格上げ。
⑫	町道高坂線の道路復旧工事。



番号	各区課題／粟賀北ブロック 5月28日（金）
①	生産森林組合の地縁団体への移行について。
②	自治機能の弱体化について。
③	ゆず生産組合の存続について。
④	東山谷川のしゅんせつについて。
⑤	旧粟賀小学校跡地活用に関し、地下水系への影響対策について。
⑥	県道8号線沿いの草刈りについて、クリーン作戦までの実施を。
⑦	県道の凸凹路面への対応について。
⑧	県道8号線の計画的な補修修繕について。
⑨	町道の補修修繕について。
⑩	旧粟賀小学校跡地活用募集に至る取組経過について。
⑪	銀の馬車道の粟賀町街道について、現行速度40kmから30kmへ変更してほしい。
⑫	図書館（室）の話が出ているが、子どもたちはタブレット使用が主流、図書館はいらぬ。
⑬	県道8号線から南方面のJAのところの交差点に、兵庫県の左折の看板があるが、これをなくして渋滞回避を。
⑭	ゴミ出しについて、名前が書かれていないゴミ袋対策について。

番号	各区課題／粟賀南ブロック 6月4日（金）
①	越知川右岸の土砂、雑木の撤去。
②	越知川中洲に自生している竹等の撤去について。
③	越知川中洲堆積石および土砂しゅんせつについて。
④	越知川右岸堤防浸食防止対策について。
⑤	県道加美粟線歩道整備について。
⑥	ハザードマップも分かりやすく作っているが、粟賀大橋から上流の状況について。
⑦	県河川の護岸工事は、町負担はないのか。
⑧	神河町に入っの玄関口といったイメージがあるので、さらにIターン、Uターン等を強化してください。

番号	各区課題／大山ブロック 6月11日（金）
①	町道改修の際の地元負担率20%からの改善は？
②	町道法面の除草対策について、知恵を絞られた結果の対策は？
③	ハザードマップの配布のみでは、意味がない。猪篠から避難できるルートが必要。
④	一斉除草という名目でみんなで農道の草刈り、そして、その横の農地へ広げる取組を進めている。
⑤	町道外側線の引き直しについて。
⑥	通学路安全対策協議会について。
⑦	猪篠川左岸の安全柵設置回答のお礼。各区事業要望は、毎年1か所で、どの区も毎年1か所実施か？
⑧	どの区も1か所ずつ実施するというのが、行政の公平サービスの観点と捉えているなら、それは大きな間違い。
⑨	10の要望があれば10年かかる。さらに新規要望が出れば毎年提出か？
⑩	区内の路面舗装を全部改修してほしいが、5つか6つに分けて出していたら、それは業務で通るか？
⑪	区の判断だけでは判断を誤る。人命、財産もそうだし優先順位の高いところは、行政がしん酌すべき。



特集 行政ブロック別懇談会

⑫	先ほどの福本区と吉富区の差がどこにあるのか？
⑬	土砂、流木対策について。
⑭	町管理河川の増水時の洗堀対応について。
⑮	工事車両（放置車両）の撤去について。
⑯	旧大山小学校跡地の公園計画について。
⑰	旧大山小学校川側バス停への雨よけ屋根の設置について。
⑱	国道312号線大型トレーラー車の通行量増大に伴うマンホール付近の段差解消、道路舗装対策。
⑲	猪篠川堆積土砂のしゅんせつについて。
⑳	デマンドバス制度の創設について。
㉑	団塊の世代の高齢化対策について順番待ちがないように。
㉒	ワクチン接種の神河町としてのキャンセル待ちのルールと公表について。クラスター対策等危機管理対策を。
㉓	滑り台もない公園では遊べない。町道の草刈り。
㉔	公用車が消火栓から1mのところに停車している。駐車場所には気をつけてください。

番号	各区課題／寺前ブロック 6月18日（金）
①	新野信号から南へ250m地点の三叉路への横断歩道設置について。
②	サル対策について、澤区での効果は。メンテナンスが大変。
③	野村北部公園に設置のプール用途廃止を含めて検討を。
④	澤井堰からの水路取込口および用水路の付替えについて。
⑤	比延橋から上流側に50cmの柵があるが低く危険であるので、転落防止柵に変更を。
⑥	県道8号線沿いの草刈りについて、クリーン作戦までの実施を。
⑦	寺前橋、新寺前橋から見る市川河川は見るにたえない光景。「原風景の残る神河」の環境整備を。
⑧	豪雨等の非常時の際の3組付近の河川域、浸水および河川水の逆流対策について。
⑨	治山治水対策工事について。増水等の緊急時の流量調整。
⑩	ほ場整備事業で設置した用水路が老朽化し、数多くの漏水箇所があり全面改修を。
⑪	ハザードマップが配布されたが、具体的にどこに避難、高齢者への声掛けをどのように考えれば良いか？
⑫	今日ワクチン接種に行ったが、何名ほどが接種されているのか。副反応の心配。
⑬	コロナワクチン接種の案内・情報について、これからの進め方に関する工夫を。
⑭	基礎疾患の有無は、どのように判断するのか？
⑮	インターネット検索しても、神河町の接種情報がまったく出てこない。これからの情報発信も必要。
⑯	タブレットによるリモート面会、患者は耳が悪いので筆談。音声で文字変換できる装置はどうか。

番号	各区課題／小田原ブロック 6月25日（金）
①	身寄りのない不自由なお年寄りが増え、通院・買い物等に不便している。コミバス以外の検討を。
②	通学路となる新町道寺前側、上岩側それぞれに1つずつ防犯灯の設置とバス停の増設を。
③	アスベスト対策。ハチの巣対策について、補助金制度を弾力化してほしい。
④	神河中学校通学路、中学校ロータリー周辺からこっとう亭駐車場東付近にかけて防犯灯を。
⑤	第47回全日本愛瓢会神河町大会開催のムード作りを。
⑥	既要望事業の早期実施について。町道上岩宮野線、高朝田区域内の舗装修繕について。
⑦	町道上岩宮野線、宮野地内の舗装修繕について。



⑧	転落防止柵、消えかかっている外側線をグリーンベルトに。
⑨	高倉地区井せきの新設について。
⑩	県道加美穴粟線改良工事の促進。160m区間について、効果的な方法で2車線確保を。
⑪	県道加美穴粟線平野地内の横断溝（暗きょ）が詰まるので、谷川の土砂止め工法以外の方法を要望。
⑫	若者後継者を育てるため、通称「猿岩」の現地踏査を行い、区の歴史を語り継ごうと取り組んでいる。
⑬	バイパスがつながった際に、第1栗谷橋付近にバス停の移設ができないか。
⑭	通学路安全対策の一部区間に防護柵設置、グリーンベルト設置を。
⑮	高倉地区井せきの新設。作りやすい田んぼにしてほしい。 面積的なことがネックになっているが、何か良い方法がないか？
⑯	町道舗装の件、できるだけ早く実施してください。
⑰	消防団員が2名足りないので、隣接部との合併をとの話を聞いたが。区に1台の消防車は配置を。
⑱	県の砂防事業を多く実施されているが、大雨が降ると溝が埋まってしまう実態が多くある。 しゅんせつを。
⑲	里山防災林事業についてそんな箇所がいっぱいある。今後も要望を出していきたい。
⑳	防災的な視点での小田原街道（山道）の整備や、太田の滝を観光名所にするための整備支援を。
㉑	補助事業を活用しながら、太田池の周辺環境の伐採等整備について、町からも関西電力へ後押しを。
㉒	寺前小学校前の歩道で車を停車させると、全児童が帽子をとって「ありがとうございました」と頭を下げて横断。こんなすばらしい教育をされている神河町に、「本気で住みたい」と言ってこられた。

番号	各区課題／長谷ブロック 7月2日（金）
①	温水プールの件。現在の取組状況を利用者へ丁寧に説明を行うこと。今後の方向性等について。
②	体育館、温水プール、わくわく公園、ホテルモンテローザを一括して第3セクターにして管理？
③	昨年度、長谷地区で行われたデマンド運行実験の結果と、今後の方向性について。
④	郡内の他町には図書館があるが、神河町には図書室があるのみ。図書館の建設を望む。
⑤	少子高齢化により、区としての機能を維持するのが難しい現状だが、町の考え方は？
⑥	モンテローザ周辺の立木の枝打ち等について。
⑦	温水プールの運営について、収支を一気にゼロまで持っていくことはできないかもしれないが、署名者は料金が上がっても良いと言っている。改善を図れるよう何とかお願いしたい。
⑧	温水プールは、長谷小学校のプールも兼ねているということ。
⑨	デマンドの関係で運行実績はどうか。何回の運行に対する利用人数なのか？
⑩	消火器の点検、交換について。
⑪	神河町ハザードマップについて。
⑫	市川の法面伐採撤去について。防犯上の死角にもなり、景観も損なう。
⑬	中山間地棚田の保全について。後継者、放棄田化の対策について。
⑭	長谷地域の5年、10年先の大きな構想があれば、聞かせてください。
⑮	農業用水路の一部未整備部分の早急な整備について。
⑯	小規模集落における自治活動について。大規模集落と同様に活動を求められても、自助には限度があり、将来の行政施策において検討すべき課題。
⑰	抜本的な有害鳥獣対策について。
⑱	長谷小学校の体育館の雨漏り対策について。避難所でもある。

